

はじめに

6月の二週間、母校である高等学校で教育実習生としてお世話になりました。教科は国語で、2年生の現代文と古典の授業を計4クラス、19時間を担当させていただきました。HRクラスは2年8組です。2年生は人懐こい生徒が多く、特に8組は賑やかで仲の良いクラスでした。

実習期間には体育祭があったので、HRクラスや他の学年の生徒たち、先生方とも関わることのできる機会が多々ありました。また、先生方には歓迎会を開いていただいたり、職員室や廊下ですれ違った時などもお声をかけていただいたりなど、実習生を大切にしてくださっていると感じました。生徒たちも実習生を温かく迎え入れ授業中も積極的に話し掛けてくれたりと、とても恵まれた環境での実習だったと感じます。

教育実習を振り返って

「辛い、しんどい」などと感じたことは、実習中一度もありませんでした。恵まれた環境だったためでもあると思います。しかし、実習生よりも早く来て遅く帰り、また、普段の仕事に加え実習生のフォローもされている教職員の方々の姿と、生徒の顔を見ていると、実習生が「疲れた」などと言うのは何か違うと感じていました。どんなことも学ぶ姿勢で、貴重な体験をさせていただいているのだと感謝の気持ちを常に持ち、実習期間を過ごしました。

辛いとは感じませんでしたが、苦労したことや悩んだことはたくさんありました。授業は指導教諭の方のご厚意で、19時間もいただけて、同じ内容の授業を違うクラスで行う事もたくさんありました。「フォローなら後でいくらでもできるから、Kさんらしく、自由に授業をしてください」と、本当に励みになるお言葉をいただき、最後まで頑張ることができました。しかし実際、授業では準備・勉強不足、発問の仕方や適切な進度での進行など改善する点がたくさんありました。いくら事前に準備や練習をしても、書き込んでノートと教科書を真っ黒にしても、完璧ではないということを痛感しました。

特に苦労したことは、教科書や文章の解説があちこち飛んでしまっ、今何をしているのかがわかりにくくなってしまった点です。生徒たちも内容を目で追いにくく、申し訳なかったと思います。指導教諭にも毎回相談し、「授業の構成や話す順番をきちんと考えること」「教科書・ノートや何ページなど細かく指示を出すこと」を特に意識しました。自分の中でしっかりと整理して話すことで、最後のほうはわかりやすい構成にできていたのではないかと思います。

また、対生徒での悩みもありました。4クラスを担当していましたが、全ての生徒の顔と名前を一致させることが難しく、名前を呼んであげられない生徒もいたという点です。なるべく名前を呼んであげて、それをきっかけに仲良くなれた生徒もいました。しかし、全く話せなかった生徒もいたので、もっと努力できることがあったのではないかと後悔している点でもあります。

授業面も生徒との関係性も毎回、指導教諭にアドバイスやご講評をいただき、改善していくことができました。また、公開授業には予想以上にたくさんの先生方にお越しいたいただき、ご講評や激励をいただきました。校長先生、教頭先生、国語科の先生方、在学時の学年担当

の先生方、また、退職された恩師も私の授業を見に来てくださいました。私のためを想っての厳しいご意見や激励のお言葉を、たくさんの先生方からいただけたことはとても嬉しいことでした。

実習最終日には授業アンケートを実施しました。何が書かれていても受け入れようと思ていましたが、読んでみると本当に温かい言葉ばかりで驚きました。「わかりやすかった」「毎回授業を楽しみにしていた」「頑張って先生になってください」。頼りない実習生だったと思います。後悔もあります。しかし、生徒たちの温かい言葉に救われた気がしました。また、HR クラスには手紙を書いて印刷していき、最後の挨拶のときに全員に渡しました。温かく受け入れてくれた皆への感謝の気持ちと、これまでの二週間を振り返ると、自然に涙が溢れてきました。すると、皆からのプレゼントとして、皆で撮った写真と40人の寄せ書きのフォトアルバムをもらいました。そこで大号泣してしまい、最後の集合写真はぐちゃぐちゃの顔になってしまいましたが、何にもかえられない一生の宝物です。

私は自分に自信が持てずに、教員か大学院進学か民間企業の就活をするのか、やりたいことが定まりませんでした。しかし、今回の実習を通してひとつの覚悟ができました。教員を目指します。もしくは、生徒を支援できるような仕事がしたいです。実習では教員の仕事のいちばん美味しいところだけを経験させてもらったというのは重々承知です。授業を持たせてもらって、生徒と関わらせてもらった。しんどいことやフォローは指導教諭や先生方がしてくださっていたからこそ、頑張れたのだと、感謝の気持ちでいっぱいです。指導教諭は三年目の方で、関西大学の先輩でした。同じゼミだったこともあり、とても親身になってくださいました。いつも明るく元気で、声も大きく、真っ直ぐな方です。優しくもあり、厳しくもある、憧れの先生です。二週間、指導教諭の方に少しでも近づきたいと思い、頑張りました。これから教員を目指すにあたって、憧れの先生に恥じることはないように、必死に背中を追いかけていきたいと思います。

この二週間は、私が関西大学で4年間頑張ってきた証です。先生方の激励のお言葉、生徒たちの笑顔を思い出し、これから努力の日々を重ねていきたいと思っています。